

1 B問題(活用)に対応するための練習問題


1 次の計算をしましょう。

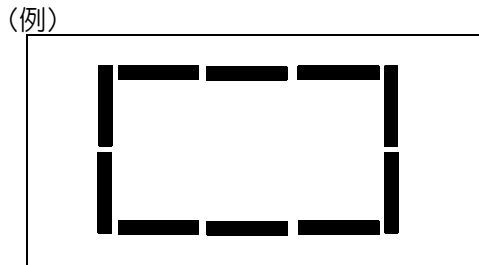
- (1) $21 - 12 = 9$ (2) $98 - 89 = 9$ (3) $86 - 68 = 18$
 (4) $42 - 24 = 18$ (5) $85 - 58 = 27$ (6) $41 - 14 = 27$
 (7) $31 + 13 = 44$ (8) $61 + 16 = 77$ (9) $91 + 19 = 110$

2 次の問いに答えましょう。

- (1) 5との差が3である数をすべて答えましょう。
 答え 2, 8
- (2) 63は、 $10 \times 6 + 1 \times 3$ のことです。同じようにして、95を表しましょう。
 答え $10 \times 9 + 1 \times 5$
- (3) 27の十の位と一の位を入れかえた数は、72です。同じようにして、53の十の位と一の位を入れかえた数を答えましょう。
 答え 35
- (4) 「十の位の数と一の位の数の差が1である2けたの整数」には、21、32、43などがあります。このような「十の位の数と一の位の数の差が1である2けたの整数」は、他にもあります。その中から1つを答えましょう。
 答え (例) 54
- (5) 「十の位の数と一の位の数の差が2である2けたの整数」には、31、42、75などがあります。同じように、「十の位の数と一の位の数の差が3である2けたの整数」を1つ答えましょう。
 答え (例) 63

3 ストローを10本使って、いろいろな長方形を作ります。右の図の(例)は、縦に2本ならべたときの長方形の図です。

( は、ストロー1本を表しています。)



(1) たてと横の本数の関係を表に整理しましょう。

たての本数(本)	1	2	3	4
横の本数(本)	4	3	2	1

(2) この関係を、式に表します。

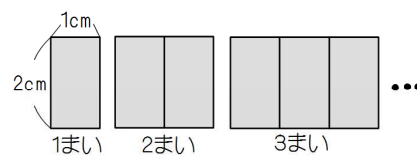
- ① ことばの式で表すと、(たての本数) + () = 5です。
 ()にあてはまることばを答えましょう。
 答え 横の本数

- ② たての本数を○、横の本数を△としたとき、この関係を式に表しましょう。
 答え $\bigcirc + \triangle = 5$

4 たての長さが2cm、横の長さが1cmのタイルを、右の図のように1列にならべていきます。

(1) タイルの数と面積の変わり方を表に整理しましょう。

タイルの数(まい)	1	2	3	4	5
面積(cm^2)	2	4	6	8	10



- (2) タイルの数を○まい、面積を△ cm^2 として、○と△の関係を式に表しましょう。
 答え (例) $2 \times \bigcirc = \triangle$

()年()組()番 名前()

5 1から9までの数が書かれたカードが1まいずつあります。



この中から2まいのカードを選び、次のような2けたのたし算の答えについて考えます。

カードを使った2けたのたし算(例)

選んだ2まいのカードを並べて、2けたの整数を2つつくり、その答え(和)を考えます。例えば **2** と **5** を選んだ場合、**25** と並べると25が出来ます。**52** と並べると52が出来ます。2けたのたし算の式は、 $25 + 52$ で、その答え(和)は77です。

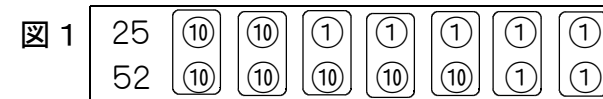
- (1) **3** と **2** を選んだときの、2けたのたし算の式と、その答え(和)を答えましょう。
 式... $32 + 23$ ($23 + 32$ も可) 和... 55
- (2) **8** と **1** を選んだときの、2けたのたし算の式と、その答え(和)を答えましょう。
 式... $81 + 18$ ($18 + 81$ も可) 和... 99
- (3) カードを使った2けたのたし算(例)や(1)、(2)のそれぞれの答え(和)は、**同じ数**の倍数になっています。この**同じ数**を答えましょう。
 答え 11

(4) えみさんは、カードを使った2けたのたし算の結果が、同じ数の倍数になるわけを次の図を使って考えました。

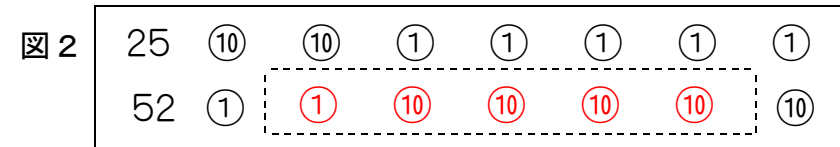
【えみさんの考え】

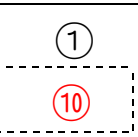
2 と **5** を選んだ25+52の場合、

25を10が2つと1が5つ、52を10が5つと1が2つとみて、図1のように表しました。



しかし、このままでは同じ数の倍数を読み取ることができないので、図1の52の表し方を工夫して、図2のように書きかえました。



【えみさんの考え】で、図2の52について、 にあてはまる①と⑩の並べ方を考えて、上の図にかき入れましょう。

(5) のぶひろさんは、【えみさんの考え】を聞いて、2けたのたし算の答えを、かけ算で簡単に求めることができるきまりに気付きました。

【のぶひろさんの考え】の()にあてはまる数やことばを下の【用語】から選び、書き入れましょう。ただし、()の中には、同じ言葉や数が入ることもあります。

【のぶひろさんの考え】

【えみさんの考え】の図2を上下で組み合わせると、組み合わせが(7)個できます。これは、カードの「2と5」の(和)と同じ数です。だから、カードの(和)に(11)をかけると、2けたのたし算の答えになります。

【用語】

3	7	9	11	25	52	和	差	積	商
---	---	---	----	----	----	---	---	---	---

1 B 問題 (No.1)

1 から 9 までの数が書かれたカードが 1 枚ずつあります。



この中から 2 枚のカードを選んで、次のような 2 けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った 2 けたのひき算

選んだ 2 枚のカードを並べて、2 けたの整数を 2 つ作り、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1 と 9 を選んだ場合、19 と並べると 19 がつくれます。91 と並べると 91 がつくれます。

2 けたのひき算の式 $91 - 19$

2 けたのひき算の答え 72

選んだ 2 枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、1 と 9 の 2 枚のカードの差は 8 です。

※ 平均正答率

	(1)	(2)	(3)
全国	76.1	81.9	38.8
私			

正解した場合には、私の欄に○印をしましょう。

()年()組()番 名前()

あやかさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合について、すべての選び方で 2 けたのひき算をしました。

カードの差が 1 の場合

$$\begin{aligned} 21 - 12 &= 9 \\ 32 - 23 &= 9 \\ 43 - 34 &= 9 \\ 54 - 45 &= 9 \\ 65 - 56 &= 9 \\ 76 - 67 &= 9 \\ 87 - 78 &= 9 \\ 98 - 89 &= 9 \end{aligned}$$

カードの差が 2 の場合

$$\begin{aligned} 31 - 13 &= 18 \\ 42 - 24 &= 18 \\ 53 - 35 &= 18 \\ 64 - 46 &= 18 \\ 75 - 57 &= 18 \\ 86 - 68 &= 18 \\ 97 - 79 &= 18 \end{aligned}$$

カードの差が 3 の場合

$$\begin{aligned} 41 - 14 &= 27 \\ 52 - 25 &= 27 \\ 63 - 36 &= 27 \\ 74 - 47 &= 27 \\ 85 - 58 &= 27 \\ 96 - 69 &= 27 \end{aligned}$$



カードの差が 1, 2, 3 の場合、2 けたのひき算の答えは、それぞれ 9, 18, 27 になっています。

- (1) カードの差が 4 の場合の、2 けたのひき算の式を 1 つ書きましょう。また、答えも書きましょう。

式 (例) $51 - 15$

答え 36



練習問題 1 の 1, 2, 5 と関連があるよ!

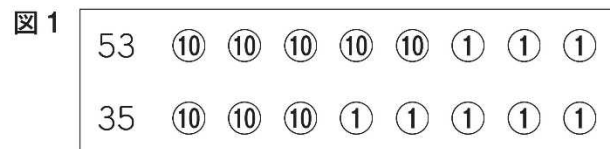
1 B 問題 (No.2)



あやかさんは、カードの差が2や3の場合に、2けたのひき算の答えがそれぞれ18、27になることを、次のように図を使って考えました。

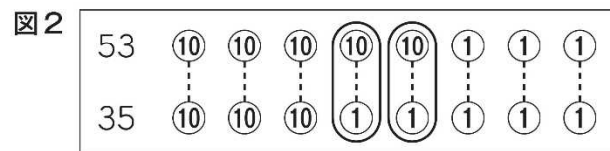
【あやかさんの考え】


カードの差が2の **3** と **5** を選んだ $53 - 35$ の場合

53 を10が5つと1が3つ、35 を10が3つと1が5つとみて、
図1のように表しました。図の中の⑩は10を、①は1を表しています。



53 から35 をひくと、残るのは図2の  の部分です。
1つの  は、 $10 - 1$ 、つまり9を表しています。

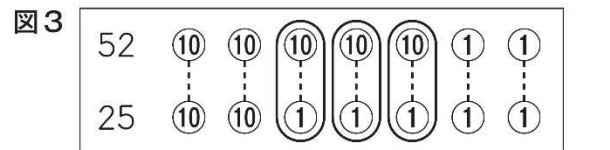



 の部分が2つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×2 で、18になります。

カードの差が3の **2** と **5** を選んだ $52 - 25$ の場合

カードの差が2の場合と同じように考えます。

52 から25 をひくと、残るのは図3の  の部分です。




 の部分が3つ残るから、2けたのひき算の答えは、 9×3 で、27になります。

()年()組()番 名前()

(2) カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えが9になることを

【あやかさんの考え】と同じように考えます。

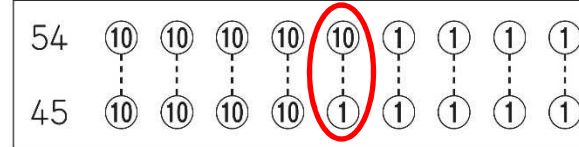
4 と **5** を選んだ $54 - 45$ の場合では、どこが残りますか。

解答用紙の図に  をかき入れましょう。

練習問題1の4
と関連があるよ!



解答用紙の図



(3) そうたさんは、カードの差が1、2、3の場合の2けたのひき算の答えを下のようにまとめました。



カードの差が1の場合、2けたのひき算の答えは9です。
カードの差が2の場合、2けたのひき算の答えは18です。
カードの差が3の場合、2けたのひき算の答えは27です。
カードの差がわかれば、2けたのひき算の答えはかけ算で簡単に求めることができます。

そうたさんが言うように、カードの差を使って、2けたのひき算の答えを
かけ算で簡単に求めることができるきまりがあります。

このきまりを、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「カードの差」、「2けたのひき算の答え」の2つの言葉を使いましょう。

練習問題1の
3
4
5
と関連があるよ!



きまり

(例) カードの差に9をかけると、2けたのひき算の答えになります。